

平成22年度当初予算（案）を編成

平塚市の平成22年度当初予算（案）は、景気の急速な回復が見込めない経済状況の中、「今、しなければならないこと」を念頭に、市民の安心・安全と将来の平塚市を支える子どもたちに配慮して編成しました。

景気後退により、市税収入の2年連続の大幅な減少が見込まれる一方、社会保障関係費や特別会計への繰出金の増加などのため、収支不足の解消に向けた財源確保には、大変厳しい判断が求められました。

このような状況下で、引き続き人件費の縮減を行うとともに、昨年行いました仕事の点検作業の結果などを踏まえ、これまで継続してきたいくつかの事業について、その実施方法やあり方を十分検討するため、休止、縮小等といたしました。さらに事業の先送り・見直しなどを行い、なお不足する財源については地方債や財政調整基金等を活用するなどして、市民生活に欠くことのできない施策に財源を充てました。

予算規模

平成22年度当初予算（案）の予算総額は1,620億3,860万円で、前年度当初予算に比べ24億3,100万円（1.5%）増加。

一般会計は759億2,000万円で、前年度を13億6,000万円（1.8%）上回る規模。ただし、創設された子ども手当事業に伴う歳出増加額を控除した総額では、前年度比15億5,000万円（2.1%）の減少と見込まれます。投資的経費では福祉会館建設や市営住宅の建替えが終了したこと、事業費の抑制を行ったことにより前年度比19億1,659万円（25.4%）減少したものの、子ども手当の創設や生活保護受給者の増加等により扶助費が42億5,855万円（31.9%）増加しています。

特別会計は、車券売り上げの減少により競輪事業会計は減額となるものの、国民健康保険事業会計における保険給付費の増加により、前年度比6億5,600万円（0.9%）増加。病院事業会計は新棟の実施設計等により、前年度比4億1,500万円（3.7%）増加となっています。

【全会計の予算規模】

（単位：千円・%）

区分	平成22年度	平成21年度	増減額	増減比
一般会計	75,920,000	74,560,000	1,360,000	1.8
特別会計	74,467,600	73,811,600	656,000	0.9
病院事業会計	11,651,000	11,236,000	415,000	3.7
合計	162,038,600	159,607,600	2,431,000	1.5

一般会計の内訳

【歳入】

歳入合計額は759億2,000万円で、法人市民税をはじめ市税の減収が見込まれるものの、国庫支出金の増加などにより前年度に比べ13億6,000万円

(1.8%)の増額を見込んでいます。

《内訳》

歳入の根幹をなす市税収入のうち、法人市民税は前年度比6億1,328万円の減少を見込むほか、個人市民税、固定資産税がいずれも減少。市税全体では前年度比

13億5,171万円(▲3.1%)の減少となっています。

国庫支出金は、障害者福祉・生活保護関係及び子ども手当に係る国庫負担金等が増えたことなどにより、前年度に比べ31億3,699万円(43.2%)増加となっています。

市債発行額は、財源対策のための臨時財政対策債が増加しているものの、投資的経費に係る普通債は減少し、前年度比7億2,800万円(▲12.3%)の減少を見込んでいます。繰入金では、財政調整基金を5億円取り崩しています。

税収減および国庫支出金の増加に伴い、自主財源比率は67.5%で、前年度比▲3.5ポイント減少。

【歳出】

職員採用抑制、手当の縮減などで人件費が前年度比8億5,263万円(▲5.1%)減少したものの、児童福祉費などの扶助費が前年度比42億5,855万円(31.9%)増加。義務的経費としては前年度比32億8,883万円(9.3%)増え、歳出総額に占める割合が初めて50%を超えました。一方、福社会館や市営住宅整備の終了や事業費を抑制したことに伴い、投資的経費は19億1,660万円(▲25.4%)減少しています。

《内訳》

民生費は、西部福社会館整備事業は終了となりますが、子ども手当の創設や民間保育所施設整備の支援、生活保護費、国民健康保険事業特別会計への繰出金が増加となり前年度比46億9,981万円(18.2%)の大幅な増額となっています。

衛生費は、次期環境事業センター整備への着手、健康増進事業の拡充、日本脳炎やインフルエンザの予防接種者の増加により前年度比4億232万円(6.7%)増額。

土木費は、継続している道路整備や、塚越公園整備などは計画的に進めるものの、万田貝塚住宅建替、桜ヶ丘公園の用地取得、真田・北金目地区の区画整理事業への負担金の終了により、前年度比21億5,584万円(▲17.9%)の大幅な減額となります。

教育費は、小・中学校体育館耐震補強事業などは継続するものの、松原小学校校舎の増築、小学校視聴覚機器の整備、中原公民館の改築の終了により、前年度比2億5,153万円(▲3.0%)の減額となっています。

＝義務的経費(対前年度比較)＝

人件費 ▲約8億5,263万円

(給料▲2億4,233万円/期末勤勉▲3億1,189万円)

扶助費 約42億5,855万円

(子ども31億313万円/障がい3億6,930万円/生保7億2,731万円)

公債費 ▲1億1,708万円(元金▲9,550万円/利子▲2,158万円)

平成22年度当初予算財源の確保

本市の平成22年度の市税収入では、平成21年度に引き続き減収となり前年度と比較すると約13億円、平成20年度と比較すると約35億円もの減収となります。このような厳しい状況の中、仕事の点検作業を踏まえた事業の見直し、縮小、臨時的経費事業の先送りなどを行い、なお不足する財源は臨時財政対策債や財政調整基金の取り崩しなどで必要な財源を確保しました。

◆給与費の削減（平成21年度当初予算比 ▲9億450万円）

平成21年度に引き続き特別職の報酬の減額を実施するとともに、職員数の削減等を行いました。

- ・特別職報酬（平成21年度に引き続き減額）
- ・職員数の削減（採用者数の抑制等）
- ・諸手当の見直し（住居手当、特殊勤務手当等）
- ・期末勤勉手当の支給月数の減（0.35月）

◆仕事の点検作業結果等を踏まえた見直し

仕事の点検作業結果を踏まえてイベントなどの事業について、その実施方法やあり方を十分検討するため、休止、縮小等を行い予算額の抑制に努めました。

（休止・廃止 ▲5,000万円）

- ・高齢者ふれあいバス事業
- ・自主防災組織支援事業
- ・海洋少年団交流事業
- ・総合公園管理庶務事業（湘南ひらつか大盆踊り）
- ・健康フェスティバル事業
- ・河川環境整備事業（体験・馬入の渡し）

その他 7事業

（縮小 ▲1,100万円）

- ・文化財団補助事業（各種文化事業補助金）
- ・囲碁文化振興事業（事業内容を見直し）
- ・緑化まつり開催事業（実施方法等を再検討）
- ・平和意識普及・啓発事業（事業内容を見直し）

その他 15事業

◆市単独事業の見直し

- ・幼稚園運営補助事業（私立幼稚園等就園奨励費補助金の減額） ▲5,000万円
- ・民間保育所助成事業（民間保育所運営費等補助金の減額） ▲1,500万円
- ・心身障害者福祉手当支給事業（65歳以上の新規は対象外） ▲120万円

◆事業の先送りや見直し等（255事業 44億円）

- ・次期環境事業センター整備事業 ▲12億円
- ・総合公園管理運営事業 ▲4億円
- ・駅（西口）周辺魅力アップ事業 ▲1億6,000万円
- ・道路施設改修事業 外9事業 ▲6億円
- ・公園整備事業 ▲1億円
- その他 241事業

◆市債の発行（51億9,200万円）

◇普通債（22億8,200万円）

施設整備などに充てる普通債（前年度比約7億3,000万円減）を発行

◇臨時財政対策債（29億1,000万円）

財源不足を補う臨時財政対策債（前年度比2億7,000万円増）を発行

※平成22年度末の市債発行残高 約1,146億円

一般会計 485億円（市民1人あたり188,161円）

前年度比約7億2,000万円（1.5%）増加

全会計 1,146億円（市民1人あたり444,762円）

前年度比約12億円（▲1.1%）減少

※市債依存度 6.8%（前年度比1.1ポイント減）

※公債費負担比率 9.9%（前年度比0.1ポイント増）

◆財政調整基金の取り崩し（5億円）

平成22年度末の財政調整基金残高 約37億円（見込み）

主な新規事業

1 通級指導教室整備事業(教育施設課)

「ことばの教室」の施設狭あい化を解消し、発達障がいの子どものための教育ニーズに対応するため、「ことばの教室」と「(仮称)発達障がいの子どものための教室」を併設した通級指導センター的機能を持つ施設の整備を行います。

19,850千円

(平成22～32年度債務負担行為) 債務負担行為限度額 282,000千円

2 (仮称)湘南ひらつかパークゴルフ場活用事業(スポーツ課)

市民の誰もが気軽に楽しく健康的にプレーできるパークゴルフを推進するため、パークゴルフ場を整備します。

2,000千円

3 プラネタリウム設備改修事業(博物館)

美しい星空の観察や宇宙の学習を行うため、プラネタリウム施設を改修します。

26,000千円

4 企業立地等促進事業(産業振興課)

工業の活性化を図るため、企業の立地に際して施設整備、環境設備、新規雇用に対する助成を行うとともに、更なる中小企業の活性化に向けて、機械装置の導入に対する助成を行います。

10,000千円

5 ひらつか花アグリ推進事業(農水産課)

花や緑にふれあい、農業を学び体験できる「ひらつか花アグリ」を湘南の地平塚の風景とともに地域の特産物を満喫していただくことを通じて、農業への理解を深め、農業振興を進めるとともに新たな観光の拠点として広くPRします。

3,957千円

6 住宅密集地等消火体制強化事業(消防救急課)

道路狭あい地区や住宅密集地等において、市民による初期消火体制を強化するため、市民が消火栓を使用して消火活動ができるよう、消火用資機材及び収納箱を設置し、訓練等を実施します。

84千円

7 公立保育所耐震補強事業(こども家庭課)

児童の安全を確保するため、公立保育園2園の耐震診断を実施します。

8,952千円

8 消防署出張所等整備事業(消防総務課)

消防活動拠点の充実のため、狭あい化の著しい消防署大野出張所及び消防訓練施設を整備し、安心・安全なまちづくりを推進します。

86,940千円

(平成22・23年度の継続事業) 継続費設定額 490,000千円

9 放置自転車等対策事業(くらし安全課)

駅周辺駐輪対策として、民間の自転車等駐車場の整備を促進する助成制度を始めます。

6, 000千円

10 中央公民館設備改修事業(社会教育課)

安心・安全な施設管理・運営を行うとともに、利用者の満足度を高めるため、中央公民館ホールの舞台照明装置を改修します。

156, 000千円

(平成22・23年度の継続事業) 継続費設定額 280, 000千円

11 バス利用促進事業(まちづくり政策課)

バス利用を促進するため、バス会社がリアルタイムのバス運行状況を提供するバスロケーションシステムの導入に対し支援します。

10, 730千円

12 平塚競技場大型映像装置設置(みどり公園・水辺課)

平塚競技場で開催される各種の競技で活用できる、大型映像装置を設置します。

(平成22～27年度債務負担行為)

債務負担行為限度額 370, 000千円

主な拡充事業

1 サン・サンスタッフ派遣事業(教職員課)

読書活動の充実を図るため、学校司書を小学校28校へ全校配置し、中学校5校にも拡充していくなど、児童生徒の学びの環境づくりに努めます。

63,811千円

2 小学校・中学校体育館耐震補強事業、 花水小学校・太洋中学校体育館整備改築事業(教育施設課)

児童生徒の安全や避難施設としての安全を確保するため、小・中学校体育館の耐震補強設計(旭小学校・横内小学校)、耐震補強工事(松が丘小学校など3校・神田中学校)、実施設計等(花水小学校)及び改築工事(太洋中学校)を進めます。

1,458,570千円

3 魅力ある展覧会開催事業(美術館)

チェコで行われる世界最大規模の絵本原画展の受賞作品を展示する「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」などの企画展の開催を行います。

42,021千円

4 民間保育所施設整備支援事業(こども家庭課)

待機児童解消のため、民間保育所1園の創設及び3園の増改築に対し助成を行い入所定員200名の定員拡大を図ります。

737,729千円

5 地域子育て支援推進事業(こども家庭課)

地域の子育て家庭に対する育児不安の解消などを図るため、市内3か所目のつどいの広場を新設するなど、子育て支援センターやつどいの広場における子育て支援を充実します。

41,317千円

6 福祉会館等管理運営事業(福祉総務課)

高齢者や障がい者、子育て中の親や子ども等の福祉の増進と生活の向上を図るため、本市4館目の福祉会館として新設した西部福祉会館の管理運営を指定管理者制度により行います。

77,536千円

7 地域福祉推進事業(福祉総務課)

住民相互の支え合い活動やふれあい交流活動の活性化を図るため、地域住民等と連携し新たに富士見地区に町内福祉村を設置します。

3,049千円

8 防犯街路灯照度アップ事業(くらし安全課)

地域における犯罪を未然に防止するため、防犯街路灯600灯を、より高照度で地球温暖化対策にも有効なLED照明へ切り替え、照度アップを一層進めます。

30,000千円

9 新エネルギー普及推進事業(環境政策課)

地球温暖化対策として新エネルギーの利用を促進するため、市民が家庭に設置する太陽光発電システムに対する補助件数を拡大します。

21,000千円

10 中小企業金融支援事業(産業振興課)

景気後退の影響を受けている中小企業の経営安定と振興を図るため、平塚市中小企業融資制度を利用した中小企業に対する利子補給の支援を拡充します。

489,434千円

11 商店等魅力アップ推進事業(商業観光課)

各店舗が自信を持って勧めることのできる商品(逸品)の開発とともに、魅力ある個店づくりや情報発信を行うためのセミナー等を開催し、商店街の活性化を図ります。

1,182千円

12 安全で豊かな消費生活推進事業(市民情報・相談課)

消費者被害の救済のため、住宅に関する消費生活相談について建築士の立ち会いを実施します。また、消費者意識の向上のため、出前講座・教室等を開催します。

19,770千円

13 建物の耐震性向上促進事業(建築指導課)

安心・安全なまちづくりを進めるため、木造住宅の耐震支援制度に加え分譲マンション耐震診断支援制度、耐震アドバイザー派遣制度など非木造住宅への耐震診断支援制度を創設します。

25,697千円

14 新しい七夕まつり創出事業(商業観光課)

第60回を迎える湘南ひらつか七夕まつりでは、市民参加による竹飾りの充実などにより、新しい七夕まつりを創出するとともに、七夕によるまちづくりを進めている自治体に呼びかけ、七夕サミットを開催します。

69,500千円

15 駅(西口)周辺魅力アップ事業(まちづくり事業課)

平塚駅西口跨線橋の通行者や改札利用者の利便性向上を目的として、跨線橋南側及び北側の一体的なバリアフリー化を図るため、エレベータ設置に向けた設計を行います。

32,000千円

16 行政改革推進事業(行財政改革推進課)

外部の視点により事業を評価する仕事の点検作業は、対象事業数を拡大し実施します。

900千円

17 こころと命のサポート事業(くらし安全課)

健康で生きがいを持って暮らすことができる社会の実現のため、市民への積極的な啓発や相談体制の連携強化など、自殺に関する総合的対策を実施します。

4,606千円

大型事業

1 新庁舎建設事業（庁舎建設室）

現庁舎における耐震性の不安や狭あい化、分散化などによる市民サービスの低下に対応するため、安全で利用しやすい庁舎建設に向けて、建築設計、土壌汚染状況調査及び議会局事務室の仮設工事等を行います。

198, 122千円

(総事業費*13,400,000千円)

※国の負担分も含まれます。

階数：地上8階、地下2階（延床面積：30,590㎡）

構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造、鉄骨造

年度	平成22年度	平成23年度	平成25年度	平成27年度
内容	建築設計 土壌汚染状況調査 議会局事務室仮設 工事	施工業者選定 Ⅰ期工事	Ⅰ期建設工事完成 一部供用開始 既存庁舎解体 Ⅱ期工事	Ⅱ期建設工事完成 供用開始 外構工事

2 次期環境事業センター整備事業（資源循環課）

循環型社会の実現に向けて、次期環境事業センターの基本・実施設計、工事等を行います。

261, 210千円

(総事業費11,313,946千円)

施設規模：315トン/日（105トン/日×3系列）

処理方式：流動床式

構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
内容	基本・実施設計 既存し尿処理施設 解体	土木・建築工事 プラント工事	プラント工事 試運転	供用開始

3 市民病院整備事業（改築推進室）

安全な医療サービスを提供するため、市民病院の整備に向けて、敷地地盤調査、実施設計等を行います。

249, 608千円

(総事業費10,667,609千円)

病床数：416床

階数：地上5階、地下2階程度（延床面積：34,000㎡程度）

※平塚市民病院将来構想より

年度	平成22年度	平成23年度	平成25年度	平成27年度
内容	敷地地盤調査 実施設計	管理棟解体 新救急棟建設	新救急棟供用開始 旧救急棟解体 新外来棟建設	新外来棟供用開始 南棟解体 北棟改修 外構整備

平成21年度3月補正予算

【規模】

今回の補正予算は、収入及び事業費の確定による補正をするとともに、年度末に至って不足が見込まれる経費を計上しています。

一般会計が2億9700万円の増額補正し、777億5,700万円となるほか、特別会計、病院事業会計を含めた全会計の累計額は、1,622億2,200万円となります。

単位 千円

会計名	補正額	累計額
一般会計	297,261	77,757,221
特別会計	△ 1,414,037	73,212,334
病院事業会計	2,100	11,252,092
合 計	△ 1,114,676	162,221,647

【特徴】

(1) 市税が6億7,400万円の減額補正

個人市民税は増額となるものの、法人市民税、固定資産税、市たばこ税、都市計画税が減額見込む。

単位 千円

区 分	補 正 額	累 計 額
個人市民税	198,199	16,409,255
法人市民税	△781,148	2,785,535
固定資産税	△29,519	19,551,046
市たばこ税	△45,243	1,615,637
都市計画税	△45,243	2,648,219
市税合計	△ 674,105	43,388,274

(2) 保健センター跡地の売却（売却予定価格 2億3,200万円）

旧保健センターの土地及び建物を社会福祉法人へ売却し、その収入を公共施設整備保全基金に積み立てます。また、旧保健センター駐車場の一部は、富士見地区地域福祉村施設用地に利活用します。

(3) 景気対策としてゼロ市債4億1,800万円を設定

工事を早期発注することで、工事の端境期の仕事量を確保できるよう景気対策につながるゼロ市債事業として下水道事業も含めて5事業を債務負担行為を設定します。

単位 千円

区 分	事 業 名	金 額
一般会計	道路施設改修事業	165,000
	農道・用排水路整備事業	3,000
	小学校施設管理事業	8,500
	小学校体育館補強事業	20,000
下水道事業	公共下水道整備事業	221,700
合 計		418,200

【3月補正予算（第2回）】

「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」及び「地域環境保全対策費補助金」に係る事業

《地域活性化・きめ細かな臨時交付金》

交付予定額 185,515千円

地域活性化・きめ細かな臨時交付金は、緊急経済対策の趣旨に沿ったきめ細かなインフラ整備事業を行い、主に中小企業の景気対策を図るもの。繰越明許費の設定により、実質的には平成22年度事業として執行して行きます。

単位 千円

区 分	事 業 名	金 額
一般会計	防災無線維持管理事業	49,977
	公園整備事業	17,000
	コミュニティ道路整備事業	67,800
	ニュースポーツ等推進事業	30,461
	消防分団整備事業	37,124
合 計		202,362

※ 歳出予算に対し、不足する額は一般財源を充当

《地域環境保全対策費補助金》

交付予定額 58,540千円

中核市・特例市が実施する低炭素化を推進するための事業が対象。「平塚市クリーンニューディール基金」に積み立て、平成22年度、平成23年度の2年間で取り崩し、防犯街路灯をLED照明に交換していきます。